

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2023年6月20日
第15号

吹奏楽部が歓迎演奏 豪華客船から拍手と歓声

6月18日(日)の夕方、小樽勝納ふ頭に寄港していた大型客船「ダイヤモンド・プリンセス号(イギリス籍)」の出港に合わせ、吹奏楽部がお見送りの演奏を披露した。乗客2047名、乗組員1100名、外国人が多いと聞き、緊張して臨んだ部員たちだが、大きな拍手とサンキューという言葉かけに大きな手応えを感じた。



大型客船のお客様に演奏を披露した吹奏楽部員

今日も学校に行きたい、 明日も楽しみだと思える学校に 新生徒会長 2年2組 ケンブ・菜多理・ジェーン



新生徒会長 ケンプ・
菜多理・ジェーンさん

8月から新生徒会長になるケンブさんに抱負を聞いた。双葉祭については「失敗はあると思いますが、記憶に残る、楽しかったと思える行事にしたい」と語り、クラスステージ、パンフレット、表彰、総括を担

当する。会長としては「学校の顔としてスピーチをしたり、組織をまとめ、適切な指示を役員に出せるように努めていきます」。そして、「生徒の皆さんが安心して、今日も学校に行きたい、明日も楽しみだと思える学校にしたい」と温かな眼差しで語ってくれた。

倉内校長10キロ完走 小樽運河ロードレース大会



小樽桜陽高校のボランティアの生徒に写真を撮ってもらった。

6月18日、小樽運河ロードレース大会が開催され、1400名が出場した。倉内慶一校

で、タイムは60分を目指していたという。10年前から健康のためにランニングを始め、「せつかく走るなら本気で走る機会があれば」と勤務地小樽の大会に出場した。完走して「爽やかな達成感があった。沿道で応援してくれると元気をもらえた」と語っている。80代の方も完走され、励みを受けたそうだ。

(写真上) 演奏風景
(写真下右) みんなでお見送りのようだった。
(写真下左) 客船は大きく、ピルの



吉川瑞希さん(トロンボーン)は英語で司会を務めた。「乗客は外国人が多く、反応がどうか心配したが、最後に盛り上がり、サンキューという言葉と大きな拍手をいただき、演奏した甲斐があったと思いました」と語った。曲は「1970年代、日本の名曲メドレー」、クイーンの

[Don't stop me now]、J-pop「日本を勇気づけるメドレー」、「蛍の光」、アンコールに「チグハグ」を披露した。吹奏楽部はこの日の午前は講師を招き、コンクール曲を練習していた。忙しいスケジュールを縫って、演奏を届けた吹奏楽部の皆さんにもう一度拍手を届けたい。